学校番号	119

平成 31 年度　芸術科

教科	音楽	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ２」　（教育芸術社）						
副教材等	The Base of Music（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を作ること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間を通して学習します。
音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて試してみてこそ価値のあるものとなり、そうして感性が豊かになります。
音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の活動を通して，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	歌唱	Alleluja／ハナミズキ／東京 VICTORY／糸／涙そうそう	○	○	○	○	a:**発声を意識しながら、歌詞の意味を感じ取って、意欲的に取り組んでいる表現しようとしている。** b:自言葉のリズムやアクセント、イントネーションなどと音楽との結びつきを感じ取って歌唱表現を工夫している。 c:楽譜を見ながら音程やリズム、フレーズ等を理解し、歌唱表現をするための技術を身につけている。 d:楽曲が成立した当時の文化的・社会的背景などを理解し、楽曲全体を聴きとっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取 観察 ワークシート 演奏の聴取
	アンサンブルを楽しもう	上を向いて歩こう 冬 てぃんさぐぬ花 情景	○	○	○	○	a:自分のパートを正確に歌っているか。 b:曲想を感じ取って様々な表現の工夫をしている。 c:音程やリズム、フレーズなどを把握して表現する技能を身につけているか。 d:それぞれの音色や音域の特徴を理解し聴き取っている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2	創作 ソルフェージュ 楽典	メロディーを作ろう アレンジしてみよう(わらべ歌編)	○	○	○	○	a:意欲的に創作活動に取り組んでいる b:曲の構成を理解し、アレンジの違いによる変化を感じ取っている c:創作した曲をイメージ通りに表現することができる d:友人たちが作った作品を互いにききあうことができる。	

	合唱を楽しもう	ほたるこい 人生のメリーゴーランド	○	○	○	○	a:各パートが協力し合って表現する歓びを味わおうとしている。 b:各パートの響きあいを感じながら表現を工夫している c:それぞれの曲に応じた表情や雰囲気を表現する技能を身につけている。 c:楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけようとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3	表現を工夫して合唱をしよう ソルフェージュ		○	○	○	○	a:一人ひとりが主体的、積極的に歌い、各声部のかかわりや各パートの役割を意識しイメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための正しい発声法を身に付け、歌唱の技術を身につけている。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	文化的・歴史的背景を理解して，日本の伝統音楽やオペラを鑑賞しよう		○	○	○	○	a：声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわり b：演奏者による違いなどについて，鑑賞した後に批評文を書いたり，感想を述べ合ったりする c：物語の情景や登場人物の心情について，どのような声や楽器の音色で表現しているかなどについて比較しながら鑑賞する d：文化的・歴史的背景など総合的に特徴を理解する。また，我が国の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解する。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。